

令和4年度事業報告

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
[1]環境修復・保全と平和巡礼プロジェクトの企画・支援事業						
(1) 熱帯林と開発地の修復・保全	【H16-17 JIFPRO 助成事業】沈香植林の生育状況を調査した。約20cm径程度に生育している沈香が多くみられた。現地住民による運営が継続されている。	4-3月	ジャンピ州ランタオラサオ	5人	100人	0
(2) よろず工房	R4年度実施なし					0
(3) 平和巡礼・香木育林事業	【H19 JIFPRO 助成事業】ベトナム戦争の枯葉剤撒布作戦で劣化著しい元ホーチミンルート地帯で、沈香木を25000本植林。ベトナム枯葉剤被害者協会(VAVA)、ANCODEX、トゥアティエン・フエ省アルオイ郡ドンソン社の協力による。現地住民の運営が継続中である。	4-3月	ベトナムアルオイ地区	現地20人	20人	0
(4) 熱帯泥炭湿地への在来有用樹種を用いた住民参加型植林事業	【H18 JIFPRO 助成事業】在来有用樹種10ha/10家族に6000本の植林。30年後、10年後、5年後にそれぞれ利用できる3種類の木材の苗を植林。現地住民による運営が継続中である。	4-3月	インドネシア中央カリマンタン州タルナ・ジャヤ村	スタッフ4人、現地住民40人	現地住民	0
[2]地域づくり・人づくりプロジェクトの企画・支援事業						
(1) 小農支援事業	<p>【H27-29 日本国際協力財団助成事業】ローカルな熱帯産物のフェアトレード推進事業を支援、東ティモール産コーヒー豆に関する環境保全型の生産等、適正な情報公開と販売を促進。京都YWCAのコミュニティ・カフェでの扱いを継続。</p> <p>【H29-R1 りそなアジア・オセアニア財団助成】『スクールガーデンで学ぶパーマカルチャー：東ティモールの環境保全型農業の推進』を実施。</p> <p>【H29 JIFPRO 助成事業】フィリピンベンゲット州サグボ村において、水源涵養のための在来種、コーヒーの苗木と被陰樹を14ヘクタールに植樹した。</p> <p>【R1 JIFPRO 助成事業】「東ティモールの子どもたちと水源の森を再生する」緑の募金助成事業をR1.7から1年間実施。学校菜園でのパーマキッズキャンプ、高校生による育苗と植林などを実施し、地域からも高い評価を得てUNESCOによる継続実施に進展した。</p> <p>【R3 JIFPRO 助成事業】「マメ科植林によるサヘル地域緑化と生計向上」事業を(株)SOCO フーズおよび日本植物燃料(株)セネガル事務所と共同で実施。セネガル中北部の半乾燥地においてマメ科植</p>	4-3月	東ティモール、フィリピンルソン島ベンゲット州、セネガルデュルベル州	7人	契約農家315世帯、児童・生徒・教員等1461人、対象村住民120人	0

	物の植林を行い緑化と風食防止、ならびに家畜飼料供給による生計向上を目指した。					
(2) 美しい湖国事業(守山)	美しい湖国プロジェクトの狙いは、望ましい滋賀県像を描き出し、それを創出するための具体策を提出することである。これを行う最も有効な手段として、関心をもつ人々が集まり、議論するための場を提供することを、第一に考え実施してきた。現在守山市との交流によるブータンのシェラブツェ・コレッジの GNH Community Engagement Center の支援(過疎・農業離れ・健康問題に対する若者人材育成)を実施。	4-3月	滋賀県守山市美崎自治会・大川活用プロジェクト	40人	延べ300人	0
(3) サゴヤシプロジェクト	【H24 JIFPRO 助成事業】南スラウェシ州北ルウ県マランケ郡ペンカジョアン村でサゴヤシを200 苗植林した。地域住民により成育中。産学地連携によるサゴヤシを使った地域開発モデルができつつある。当初 2012 年の植林地での収穫が想定より早く始まり、効果の実証を開始した。	4-3月	インドネシア	8名	ペンカジョアン村ラップ地区住民120名	0
(4) JICA 草の根 カメルーンプロジェクト	【JICA 草の根パートナー型技術協力事業】「カメルーン国東部州における小規模農家を対象としたキャッサバ商業化支援事業」において最終年度にあたり、タスク・インターナショナルもやいから、の5名が派遣され(1. エンドライン調査(6月)、2. 最終調査団受け入れ(8月)、3. クロージングセルモニー(8.26)、IRAD 成果発表会(8.30)、4. 現地成果発表会(9月)、5. 栽培班事業の引継ぎ)が行われた。11月には事業完了報告書の提出、および終了時評価表が JICA の HP に掲載された。 https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/country/ku57pq00001ziynu-att/came_01_p_te.pdf	4-10月	カメルーン東部州アンドム村	3名	アンドム村68世帯(直接裨益者)、50世帯+村外50世帯(間接裨益者)	0
[3] 上記プロジェクトに係る人的交流事業						
(1) 国際学びあい(ピア・ラーニング)	【H26-28 りそなアジア・オセアニア財団助成事業】環境保全事業「コーヒー生産地と消費地をつなぐ、そして学びあうー東ティモール高地の環境保全に向けてー」の学びを受けた珈琲農家の活動が現地で継続している。	4-3月	奈良、京都	3名	200名	0
(2) 海域教育研究所(NGO ルンバガ・プラフ)支援	伝統的木造帆船を中心としたスラウェシの海洋文化を若者に伝える活動を継続。	4-3月	インドネシア	5名	20名	0

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和4年度 活動計算書
令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費 会費収入	60,000		
		60,000	
2. 受取助成金等 カメルーンJICA草の根事業 受託事業費	3,303,120		
		3,303,120	
4. その他収益 受取利息	6		
		6	
経常収益計			3,363,126
II 経常費用			
1. 事業費			
カメルーンJICA草の根事業費	3,303,100		
事業管理および経理事務費	30,000		
通信費	20,767		
印紙・振込手数料等	1,320		
		3,355,187	
経常費用計			3,355,187
税引前当期正味財産増減額			7,939
法人税、住民税、事業税			0
当期正味財産増減額			7,939
前期繰越正味財産額			491,479
次期繰越正味財産額			499,418

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	5,341		
普通預金	1,428,815		
未収会費	60,000		
流動資産合計		1,494,156	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,494,156
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
未払い委託事業費	994,738		
流動負債合計		994,738	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			994,738
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		491,479	
当期正味財産増減額		7,939	
正味財産合計			499,418
負債及び正味財産合計			1,494,156

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和4年度 財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	5,341		
普通預金 三菱UFJ銀行茨木西支店(事務局)	1,428,815		
未収会費	60,000		
流動資産合計		1,494,156	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,494,156
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
未払い委託費	994,738		
流動負債合計		994,738	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			994,738
正味財産			499,418

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄